

豊かさや新入社員への価値観

国土交通省が2021年に東京一極集中の要因と是正に向けた取り組みの方向性についての検討会で発表した「都道府県別の経済的豊かさランキング」によると、三重県は全国1位だった。各都道府県の可処分所得の上位40～60%の中間層である中央世帯の「可処分所得」から「基礎支出（食料費、家賃等、光熱水道費の合計支出額）」を差し引いた額が多い順に並び、「手元に残る金額が多い」都道府県ランキングと言える。

さらに、通勤時間の機会損失を費用換算して差し引いた項目もあり、こちらも三重県が全国1位（47位は東京都）となった。経済的な豊かさだけが地域の住みやすさにつながるわけではないが、データを見れば三重県に住みたいと考えてくれる若者が増えるかもしれない。

当社では毎年4月に新入社員研修を主催し、その受講者を対象に就職観や就職活動の実態についてのアンケート調査（複数回答可）を実施している。24年度の調査結果では、就職先を決定した理由の1位は「仕事内容」（51.5%）、2位は「自宅通勤ができる」（26.0%）、3位は「休日の曜日や日数」（24.3%）となった。2位までの項目は20年以上変わっていない。

また、人生で大切だと思うものについては、1位が「家庭」（60.9%）、2位が「お金」（58.6%）、3位が「趣味」（47.3%）となった。この質問がアンケートの項目に加わった10年度当時の1位は同じく「家庭」（76.2%）、2位は「友人」（47.2%）、3位は「健康」（46.2%）であったことを踏まえると、経済的側面やプライベートの重要視が高まっていることが伺える。

「充実した社会人生とは、より多くのお金と時間を家庭と趣味の時間に費やすこと」という一つの価値観として捉えると、ぜひとも全国の若者に三重県で暮らし、働くことをオススメしたい。

（会員事業部 主任研究員 奥田 千夏）